

令和元年度 長与町立高田保育所自己評価結果

平成20年3月に告示された保育所保育指針において、保育士等及び保育所の自己評価並びにその公表が努力義務として位置づけられました。このことを踏まえ、高田保育所では保育の質の向上を図るために、保育所の自己評価を実施しました。

自己評価を通して、保育所の保育のよさや課題に気づき、次の保育計画へ活かし、改善していくことで、保育所の専門性・組織力を高め、保護者の皆様や地域の皆様との信頼関係がよりよく、深まるよう努めます。

【実施職員数】36名

【評価項目】保育所保育指針に示された項目に沿って設定

【評価期間】平成31年4月1日～令和元年度12月28日

【評価の判定】

1. ほぼ実施 (100%~90%)
2. かなり実施(90%~61%)
3. あまり実施せず(60%~21%)
4. ほとんど実施せず(20%~0%)
5. 該当せず(自己評価を行った職員が現在行っている保育業務に質問項目の内容が含まれない)

【評価方法】各項目について個々の保育士、職員が自己評価を行い、集計をする。

1の全項目の合計が40%以上かつ1と2の全項目の合計が80%を満たすときは1とし、その他は割合が大きいものを評価とする。その結果をもとに、保育実践状況等を踏まえて、章・節ごとに保育所としての自己評価を決定する。

【公表内容】項目は235項目にわたるため、代表的な5項目とその結果、保育所としての自己評価と意見・改善点。

項目		評価(割合)				意見・改善点
		1	2	3	4	
第1章 総則(全8項目)		1	2	3	4	・定期的に全職員による職員会議において、保育所保育指針の確認、保育方針に基づく育児、遊び、一斉活動の勉強会を行った。
1	「保育方針」「保育計画」に基づき保育を行っていますか	22%	66%	2%	5%	
2	子どもの最善の利益を考慮し、人権に配慮した保育ができていますか	36%	61%	0%	0%	
3	保育所は、子どもがその生活時間の大半を過ごす場であることの意味を理解していますか	67%	36%	0%	0%	
4	入所・利用している子どもの個人情報の(あなた自身の)管理は、適切だと思いますか	58%	38%	2%	0%	
5	職業上知り得た子どもに関する情報について、適切な理由なく家族や友人にも、話さないようにしていますか	69%	27%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
第2章 子どもの発達(全15項目)		1	2	3	4	・3については、「発達の連続性」を実年齢だけではなく身体や動きからみる発達を理解し、遊びで促す方法を学ぶ機会を設けた。 ・0~1歳児に置いては成長、発達、家庭での生活時間を考慮し、子どもそれぞれに日課を作成している。 ・「一人ひとりをたいせつに」という保育目標のもと、育児、遊び、環境構成を行い、情緒の安定をはかるよう努めている。
1	乳幼児期は、生涯にわたる「生きる力」の基礎が培われる時期であることを理解して、保育を実施していますか	50%	47%	2%	0%	
2	子どもの発達は、豊かな心情、意欲、態度を身につけ新たな能力を獲得していく過程であることを理解していますか	58%	41%	0%	0%	
3	子どもの発達の特性や発達過程を理解し、「発達の連続性」に配慮して保育をしていますか	40%	54%	6%	0%	
4	保育所の生活になじみにくい子どもに対しても、一人ひとりに応じた適切な援助及び環境構成をおこなっていますか	20%	80%	0%	0%	
5	子どもの情緒を安定させ、人への信頼感を育てるために一人ひとりの子どもを愛し、信頼していますか	72%	27%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
第3章 保育の内容		評価(割合)				
1. ねらい・内容(全6項目)		1	2	3	4	・保育所保育指針、保育方針を具現化した年間案をもとに、月案、週案を作成している。養護と教育を区別し配慮事項を記載している。
1	保育の内容は目標を具体化した「ねらい」とさらに具体化した「内容」とから構成されていることを理解していますか	31%	60%	9%	0%	
2	保育所保育は「養護と教育」が一体となって展開されることに留意していますか	49%	46%	6%	0%	
3	「養護」とは、子どもの生命の保持と情緒の安定を図るための援助であることを理解していますか	55%	41%	2%	0%	
4	「教育」とは、子どもが健やかに成長し、活動がより豊かに展開されるための援助であることを理解していますか	47%	52%	0%	0%	
5	「教育」とは、心情、意欲、態度など子どもが身につけるための援助であることを把握していますか	47%	47%	5%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				

		評価(割合)				<p>・1については、0～2歳児は週案において、3～5歳児は月案において記載している。</p> <p>・3については、子どもの個々の場所として、一人ひとりにマークを用い、持ち物や置き場所に表示している。食事や昼寝の場所を固定することで安心できるようにしている。</p> <p>・4については、子どもの行動には理由があるという姿勢で、子どもの話をよく聴くように努めている。</p> <p>・5については、子どもの気持ちを聴くこと、家庭での様子を保護者に確認するなどしている。落ち着くまで、保育士が遊ばせたりはしない。</p>
		1	2	3	4	
(1)養護(生命の保持・情緒の安定)(全17項目)						
1	指導計画や記録には、いつも養護面の配慮が記載されていますか	33%	52%	10%	5%	
2	登園時の子どもの健康観察を行っていますか	49%	43%	9%	0%	
3	子どもが自分の場所を確保できるような配慮をしていますか	31%	57%	11%	0%	
4	「いや」などと駄々をこねる子どもの気持ちを汲み取ろうとしていますか	41%	52%	5%	0%	
5	登園時、泣く子どもに対して、放っておいたり、叱ってしまうことがないようにしていますか	71%	26%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
(2)教育 1)健康(全12項目)						
1	戸外で遊ぶ機会を多く取り入れていますか	52%	42%	3%	3%	・1については、天気の良い日は各クラス戸外遊びをしている。
2	健康な生活のリズムを身につけるよう、子どもの一日の生活の流れを考えながら保育していますか	41%	51%	7%	0%	・2については、0～1歳児クラスで発達に応じて日課の作成を行っている。2～5歳児では年度途中に成長に合わせて日課の作成を行っている。
3	戸外の活動のあと、子どもが丁寧に手を洗っているか、その都度確認していますか	44%	44%	2%	0%	・4、5については、0～2歳児クラスは週案に個別配慮を記載し、丁寧に働きかけを行っている。
4	食事、排泄など、生活に必要な活動の仕方身につけるよう、働きかけていますか	47%	53%	0%	0%	
5	衣類の着脱を自分でやろうとしている子どもの気持ちを大切にしていますか	44%	56%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
(2)教育 2)人間関係(全16項目)						
1	子どもが、保育士や友達と共に過ごすことの喜びを感じることができるような配慮をしていますか	37%	56%	6%	0%	・1については、年齢に応じて配慮を行っている。0、1歳では保育士と遊ぶ楽しさ、一人で集中する時間どちらも大事にバランスよく確保するよう努めている。
2	園生活の中で、自分でできたという充実感を味わえるような体験を取り入れてますか	29%	68%	3%	0%	・3については、つまずきや葛藤、ケンカを大事な機会と取られ、どうしたらいいのか子ども自身に考える時間を取るなどして、保育士が一方的に指導することがないように配慮している。
3	つまずきや葛藤、ケンカなどを、子どもの育ち(発達)に欠かせない物としてとらえ、対処していますか	40%	54%	6%	0%	
4	子ども同士が思ったことを相手に伝え、相手の思っている事にも気づけるように援助していますか	34%	63%	3%	0%	
5	良いことや悪いことに気付き、考えて行動ができるように配慮していますか	26%	65%	9%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
(2)教育 3)環境(全14項目)						
1	身近な自然を通して、その美しさ、不思議さなどに気づくことができるようにしていますか	29%	60%	11%	0%	・3については、野菜・草花の栽培をし、
2	水や砂や土などを使って、その性質や仕組みに会った遊びを展開できるように工夫していますか	32%	52%	13%	3%	・4については、3～5歳児クラスにおいては数の概念を課題とした活動を取り入れている。0～2歳児クラスでは遊びの中で意識している。あまり実施していないという数値が大きいので、保育士の意識醸成を行いたい。
3	身近な動植物を飼育・栽培するなど、それらに興味や関心を持つことのできるよう配慮していますか	21%	58%	11%	11%	
4	集めてきた木の実を数えたり、数量や図形などに関心を持つよう工夫していますか	20%	44%	24%	12%	
5	自分の物、他人の物、共同の物の区別に気づけるような機会を提供していますか	19%	65%	13%	3%	
保育所としての自己評価		2.かなり実施				

	(2)教育 4)言葉(全19項目)	1	2	3	4	<p>・3においては、子ども主体の保育を行うべく、子どもの意見を十分に引き出すよう努めている。特に5歳児においては、行事も子どもの意見を重視している。また、日頃の遊びから、子どもの興味や関心を捉え活動の指針としている。</p> <p>・4においては、町の移動図書館を月2回利用し、好きな本を選んで、楽しんでいる。</p> <p>・5については、挨拶ができるよう日頃から指導を行っている。</p>
1	あなたは、子どもの発達や理解力や生活経験に合わせた言葉を使って保育していますか	25%	69%	5%	0%	
2	子どもが見たこと、聞いたこと、感じたことなどを、その子なりの言葉で表現する機会を大切にしていますか	37%	60%	3%	0%	
3	話し合いの時は、どの子どもも自分の意見をいう事のできる機会を提供していますか	28%	61%	11%	0%	
4	子どもの興味や関心に合わせた絵本や物語の選定をしていますか	42%	48%	9%	0%	
5	「ごめんなさい」「ありがとう」など、生活に必要な言葉をいつもつかえるように保育していますか	63%	33%	2%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
	(2)教育 5)表現(全13項目)	1	2	3	4	<p>・1については、運動会、季節のお集まりにおいて踊ったり、歌ったりしている。日頃はわらべうたを日常的に歌って、ふれあい遊びを保育士や子どもと十分行っており、子どもの楽しみの1つとなっている。</p> <p>・5については、3～5歳児クラスは自由に取れるようにしている。用具についてはさらに充実をさせていきたい。0～2歳児においては保育士が提供している。</p>
1	歌ったり、踊ったりして、音や動きの楽しさに気づき、楽しめるよう援助していますか	27%	54%	17%	0%	
2	様々な音、色、手触り、動き、味、香りに気づき心地よさを感じる機会をつくっていますか	21%	60%	18%	0%	
3	美しい物や心を動かす出来事にふれ、イメージを豊かにできるような機会をつくっていますか	16%	55%	23%	3%	
4	ハサミや大工道具等、道具の正しい使い方を、一人ひとり丁寧に教えたり、見守ったりしていますか	31%	54%	15%	0%	
5	自由に描いたり作ったりできるように、材料や用具を子どもが自由に取りだせる場所に置くなど工夫していますか	29%	29%	29%	14%	
保育所としての自己評価		2.かなり実施				
	2. 保育の環境(全9項目)	1	2	3	4	<p>・1については、各クラスにままごと、積み木、お世話ごっこ、絵本、手先を使う遊びなどのコーナーを設け、定期的にコーナーの移動、遊具の入れ替えなどを行っている。</p> <p>・3については声の大きさには注意するよう職員会議などで周知は行っているが、結果から実施できていない職員がいるので再度気をつけていく。</p> <p>・4については、遊具、玩具については発達に合わせて保管している棚から出し入れしている。</p>
1	子どもの興味に合わせて、好きな遊びができるコーナーを設けるよう工夫していますか	32%	52%	12%	4%	
2	子どもの作品を工夫して飾ったり、丁寧に保存したりするなど、大切に扱っていますか	50%	41%	9%	0%	
3	保育中のあなた自身の声の大きさは、子どもにとっていつも適切な大きさですか	14%	71%	14%	0%	
4	子どもの発達に即した玩具・遊具・用具を用意していますか	27%	63%	10%	0%	
5	子どもの戸外での活動に合わせて、遊具の配置や飼育・栽培など自然環境の整備に心がけていますか	21%	55%	24%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
第3章 保育の内容		評価(割合)				
	3. 乳児保育(全21項目)	1	2	3	4	<p>・乳児保育は生涯にわたり影響を及ぼすと考え、情緒の安定、他者との信頼関係構築をはかるために、丁寧な関わりを努めている。</p> <p>・乳児保育の方法について、定期的に保育観察を行い、勉強会を催している。</p> <p>・2、5については担当制を導入し、特定の保育士が子どもと丁寧に関わっている。</p>
1	抱いて目を合わせたり、微笑みかけたりしながら、ゆったりと授乳していますか	42%	50%	8%	0%	
2	おもむつの交換は、優しく声を掛けながら行っていますか	56%	44%	0%	0%	
3	一人ひとりの生活リズムに合わせて睡眠がとれるように、静かな空間を確保していますか	46%	46%	8%	0%	
4	一人ひとりの子どもにいつでも優しく対応するように心がけていますか	66%	34%	0%	0%	
5	特定の保育者との継続的な関わりが保てるよう配慮していますか	40%	55%	5%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				

5. 障害のある子どもの保育(全11項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1については、個別支援計画を作成し、保護者面談を行い、経過報告を行っている。 ・4については、関わりが少ない職員も情報を提供できるよう共有を行っていききたい。
1	園での生活の仕方について、障害のある子どもの特性に合わせた個別支援計画を立てて保育を行っていますか	33%	33%	17%	17%	
2	障害のない子どもも障害のある子どもも、互いの良さを感じ取るように配慮していますか	36%	48%	12%	4%	
3	障害のない子どもの、障害のある子どもへの関わりに対し、あなたは配慮していますか	38%	46%	12%	4%	
4	障害のある子どもの保護者が就学など将来の方向を決めやすいように、相談に応じたり情報を提供したりしていますか	20%	50%	10%	20%	
5	障害のある子どもの保護者の気持ちを受け止め、信頼されるよう努めていますか	25%	58%	12%	4%	
保育所としての自己評価		2.かなり実施				
6. 子どもの人権(全7項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権擁護のためのチェックリスト」をもとに振り返りを行っている。 ・これまで行ってきた活動も人権侵害にあたるものがないか確認を行った。
1	「男(女)の子だから〇〇しなさい」などと、行動(態度)について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか	55%	41%	0%	3%	
2	「それは男(女)の子の色」などと、服装や持ち物について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか	63%	33%	3%	0%	
3	「それは男(女)の子の遊び」などと、遊び方について、性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮していますか	63%	33%	3%	0%	
4	子どもの人権への配慮や、互いに尊重する心を育てるよう配慮していますか	51%	43%	3%	3%	
5	あなたは、子どもの権利養護に関する研修に参加したことがありますか(CAP可)	52%	26%	3%	19%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
第4章 保育の計画及び評価		評価(割合)				
1. 保育の計画 (1)保育課程(全9項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・指導計画は年間案、月案、週案を作成し、月案と週案は自己評価を行っている。子どもの興味・関心・意欲に合わせて、遊びや活動の計画を作成している。 ・個人情報に関わる者は鍵付きロッカーに保管している。
1	指導計画を養護的側面(基礎的事項)と教育的事項(5領域)の両面を考慮して作成していますか	58%	41%	0%	0%	
2	年・月案などの長期的な指導計画と関連させ、子どもの生活に即した週案等の指導計画を作成していますか	58%	41%	0%	0%	
3	週案などの指導計画は、子どもの興味や関心、意欲に合わせて活動が展開できるように作成していますか	58%	41%	0%	0%	
4	日々の保育記録が、子どもの発達援助に必要であることを知っていますか	55%	45%	0%	0%	
5	子どもの個人記録などは、個人情報保護法や守秘義務に基づいて管理していますか	57%	43%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
2. 小学校との連携(全7項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は年に1回全職員に行っている。その他に「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を使って振り返りを行うようにしている。 必要な職員には定期的に所長による面談を行っている。
1	保育所保育が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解していますか	69%	28%	3%	0%	
2	あなたは、園長や主任からの意見を、謙虚に受け止めることができますか	50%	47%	2%	0%	
3	普通の保育記録が「保育所児童保育要録」の記入に役立つように整理されていますか	8%	75%	17%	0%	
4	自己評価など、自分の保育を振り返る機会を定期的に持っていますか	18%	56%	21%	0%	
5	あなたは園長や主任との間で、質問したり意見を交わしたりできますか	32%	56%	12%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				

第5章 健康及び安全		評価(割合)				
1. 子どもの健康支援(全7項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・3については、玄関連絡ボードに感染症発症数掲示している。また、子どもの体調不良による保護者への連絡を行う際は、感染症の発生を伝えている。 ・年に2回の内科健康診断、年に1回の歯科検診、年に1回の蟻虫検査、尿検査(幼児)を行っている。
1	子どもの日々の健康状態を把握し、それを一人ひとりの保育に生かしていますか	46%	54%	0%	0%	
2	身長・体重などの定期的な測定の結果を、保護者に文章で伝えていますか	62%	38%	0%	0%	
3	感染症が発生した時、発生の状況や予防対策などをすぐに保護者に連絡していますか	31%	64%	5%	0%	
4	疾患を持つ子どもに対して、医師からの指示に基づいて対応していますか	41%	59%	0%	0%	
5	家庭では、子どもが十分に睡眠をとるなどして健康な生活リズムを身につけるよう保護者への啓発に努めていますか	29%	57%	10%	3%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
2. 環境及び衛生管理(全4項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ掃除は毎日行っている。 ・砂場にはシートをかけている。 ・遊具、玩具は0歳児は毎日消毒庫に入れて消毒している。他のクラスは計画をもとに行っている。
1	子どもが活動しやすいように、その都度、保育室の換気や温度・湿度に配慮していますか	63%	34%	3%	0%	
2	適宜、手洗い場やトイレを清掃し、清潔に保つようになっていますか	74%	26%	0%	0%	
3	砂場は、動物の侵入を防いだりするなど、衛生面に配慮していますか	55%	42%	3%	0%	
4	玩具・遊具については、適宜、衛生面に配慮していますか	34%	63%	3%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
3. 安全管理(全5項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1,2については、安全チェックを行うとともに、事故があった場合は振り返りを行い、対応策を話し合っている。 ・火災避難訓練、不審者対応訓練、地震避難訓練、乳幼児突然死症候群対応訓練を実施。 ・救急法講習会を夏に実施。プール、水の事故についても学んだ。
1	子どもが危険な場所、危険な遊びが分かり、安全に気を付けて行動するよう指導していますか	41%	52%	5%	0%	
2	手洗い場の滑り止めをはじめ、必要な個所の転倒防止の対策をしていますか	30%	53%	10%	0%	
3	交通安全の習慣が子どもの身につくように指導していますか	38%	48%	14%	5%	
4	災害時に安全に避難できるようにするための訓練を行っていますか	65%	35%	0%	0%	
5	不審者が園内に侵入した際、あなたはどのように対応するのかを理解していますか	60%	40%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
4. 食育の推進(全9項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士による食育計画を作成。年長児は管理栄養士による食育を行っている。令和元年度は「七輪であじを焼く」「そらまめをゆでて食べる」「クッキー作り」など楽しみながら活動を行った。 ・厚生労働省から通知されている「保育所における食事の提供ガイドライン」をもとに、楽しく食べる子どもに育つように配慮を行っている。
1	子どもが落ち着いて食事・おやつを楽しめるように、雰囲気作りなどを工夫していますか	44%	56%	0%	0%	
2	偏食や残さず食べることを直そうと、過度に叱ることがないように配慮していますか	56%	44%	0%	0%	
3	子どもが栽培・収穫したもの、調理したものを食べるなどの機会を作るよう心がけていますか	50%	25%	0%	25%	
4	絵本など視聴覚教材を通じて、食べ物に興味や関心を持つことが出来るように働きかけていますか	27%	60%	13%	0%	
5	子どもの体調に応じた食事が提供できるように配慮していますか	45%	55%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				

第6章 保護者に対する支援		評価(割合)				
1. 保育所に入所している子どもの保護者に対する支援(全11項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・2については、一日保育体験時や必要に応じて行っている。気軽に出来ることを保護者に周知していきたい。 ・3については、情報共有を必ず行うようにしている。 ・5については、令和元年度の目標として保護者への説明力の向上を掲げたが、一定の効果が得られたのかと考える。
1	送迎の際に、保護者と必ず言葉を交わすようにしていますか	50%	50%	0%	0%	
2	子どもが体調がよくないときなどに、保護者に電話する際、その内容がどのように伝わるか考えていますか	45%	55%	0%	0%	
3	保護者からの相談内容などを、担任一人の問題にしないで、園全体で受け止めようとしていますか	35%	64%	0%	0%	
4	子育てについて、保護者と共通理解を得るために、懇談会などの機会を設けていますか	40%	53%	6%	0%	
5	自分の保育実践の内容や意図を、分かりやすく保護者に説明することができますか	32%	60%	8%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
2. 地域における子育て支援(全2項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1について30年度の自己評価結果をふまえ、職員会議において勉強会を開催した。その際、こども政策課作成の「こども虐待対応マニュアル」の冊子をもとに園での対応マニュアルの作成も行った。 ・2については、発熱や怪我以外にも保育所での様子を
1	虐待を疑われる子どもの情報を得た時、要保護児童対策地域協議会や児童相談所などの機関に照会、通告を行う園の体制を理解していますか	44%	50%	3%	3%	
2	一時保育のときにも、子どもの発熱や怪我の際に、保護者に連絡を取る方法を知っていますか	61%	37%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
3. 地域や関係機関と連携(全4項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1についてこども政策課作成の「くらしと命を守る支援者連携リスト」を職員に配布し確認を行なった。 ・3については、事前に目的や意義を職員へ情報共有を行っている。次世代育成の観点から、子どもとの触れ合いを十分に取るようにしている。
1	子どもの医療や保健に関する問題について、連絡・相談すべきところを知っていますか	21%	58%	21%	0%	
2	園の周辺の住民と良好な関係を築けるよう、日常の挨拶などを心がけていますか	56%	44%	0%	0%	
3	中高生や大学生などの保育体験を受け入れるときには、その目的や意義を理解・確認していますか	37%	60%	3%	0%	
4	実習生を受け入れる時には、意義や方針を理解し、あなたが指導的立場にあることを意識していますか	42%	58%	0%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				
第7章 保育を支える組織的基盤(全9項目)		1	2	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・1については、行事や保育活動など何のために行うものなのか、保育の基本に立ち返る機会を設けている。振り返りや見直しなども行っている。 ・2については、園内研修・勉強会を年間15回実施した。園外の研修は一人あたり1~3回参加している。 ・5については、必要最低限ではあるが、書籍を購入して保育の参考としている。
1	会議などでは、子どもの最善の利益を尊重して発言していますか	22%	74%	4%	0%	
2	園の内外における研修・研究活動に積極的に参加していますか	12%	62%	18%	9%	
3	同僚のそれぞれの役割と、あなたが果たすべき役割とを理解していますか	33%	63%	2%	0%	
4	自分の実践について、同僚から意見をきくように努めていますか	38%	52%	9%	0%	
5	研修に参加したり専門書を読むなどして、保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めていますか	19%	61%	19%	0%	
保育所としての自己評価		1.ほぼ実施				